

第6次兵庫県環境基本計画 (2025～2030年度) の策定

気候変動の影響、自然共生の危機、環境汚染の拡大など、本県を取り巻く社会情勢や環境課題の変化に対応するため、兵庫県環境基本計画を改定

※ 環境の保全と創造に関する条例第6条に基づく、環境の保全と創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る基本的計画

1 基本理念

将来につなぐ兵庫の自然の恵み ～県民と共に創る環境価値～

将来にわたる環境・経済・社会の持続可能性を確保し、**県民のウェルビーイング(県民の幸福)**を実現

2 施策展開につなげる3つの視点

環境価値の創出

施策間の相乗効果の最大化と
トレードオフの回避・調整

共創力の発揮と担い手の確保

環境価値の創出・兵庫らしい取組例

環境を起点とした経済・社会との統合による高付加価値化や地域活性化にも貢献するような環境価値を創出

● 環境創造型農業における環境価値

有機農業など環境創造型農業の価値(生物多様性、脱炭素など環境負荷の低減)を農産品のブランディングにつなげる



● 「兵庫のり」のブランディング

養殖ノリのブルーカーボンに着目し、「カーボン・ゼロのり」としてのブランディングを通じて、CO₂削減、豊かな海づくり、森林保全といった相乗効果を発揮



第6次兵庫県環境基本計画 (2025～2030年度) の策定

3 具体的施策の展開

- ☑ 脱炭素・自然共生・資源循環を基軸とし、環境価値を創出
- ☑ 環境施策等の統合的な展開によって、健全・快適な生活環境を確保
- ☑ 共創力を発揮するとともに、その担い手を確保



脱炭素

2030年度目標

● 温室効果ガス排出量削減

- ・ 2050年カーボンニュートラルロードマップの作成
- ・ 脱炭素型ライフスタイルへの転換

● 再エネ導入拡大

- ・ 太陽光発電の導入拡大、ペロブスカイト太陽電池の活用実証

● 環境共生のまちづくり

- ・ 地域循環共生圏の構築
- ・ 次世代自動車(EV、FCV)の普及や水素ステーションの整備

● 森林・海洋機能の強化

- ・ ブルーカーボンの推進（藻場の保全・再生等）

温室効果ガス排出量削減率
(2013年度比) ▲48%

資源循環

2030年度目標

● 資源循環の推進

● 暮らしに根ざした資源循環

- ・ プラスチックごみゼロアクション
- ・ 食品ロスの削減
- ・ サステナブルファッションの展開

● 廃棄物の適正処理

一般廃棄物排出量 1,617千t
産業廃棄物排出量 21,495千t

自然共生

2030年度目標

● ネイチャーポジティブの実現

- ・ 生物多様性に配慮した農林水産業の推進
- ・ 特定外来生物の早期発見・防除
- ・ 生態系を活かした防災・減災

● 野生鳥獣の適正管理

- ・ 野生鳥獣による被害防止対策
- ・ 県立総合射撃場の活用

● 里地里山・里海の保全・再生

県土(陸域)の自然環境
保全割合 30%

健全・快適

2030年度目標

● 化学物質等への対策

- ・ 有機フッ素化合物(PFAS)の実態調査

大気・水質・騒音の環境
基準達成 100%

共創力

2030年度目標

● 次世代の人材育成

- ・ 環境学習・教育の推進

主な社会教育施設における環境学習プログラム参加者数 13万人